

## 令和4年4月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

コロナ関係の規制緩和で人や物の動きが回復し、製造業・非製造業ともに多くの業種において売上げが伸びたことから、4月期の景況DI値は約9ポイント改善し、持ち直しの動きが見られた。

一方で、原材料費・燃料費や電気料金の高騰が続いていることから、全体的には、売上は伸びても収益は悪化しているという状況になっており、また、外国人の入国制限等による人材不足で、受注に対応できないとする業種も多い。

今後も、コロナ禍の長期化に加え、ロシアのウクライナ侵攻や中国のロックダウンの影響による原油・原材料や部品等の高騰が見込まれ、多くの業種において、資金繰りや人材確保等、先行きに対する不安感が依然根強い。

### 山口県の主要指標DI値（令和4年4月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：37.5% DI値：▲33.7% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：20.0% 減少：33.8% DI値：▲13.8% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：43.8% DI値：▲35.0% ポイント

### 山口県の業種別DI値（業界の景況）（令和4年4月末現在）

 30以上	 30未満～ 10以上	 10未満～ ▲10以上	 ▲10未満～ ▲30以上	 ▲30未満
---	--	---	--	--

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲62.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲16.6	▲33.3	0.0	▲40.7
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
0.0	▲37.5	▲40.0	▲18.2	▲36.4	▲42.9	0.0	▲29.1
							

全体
▲33.7


## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>原材料だけでなく、電気料金の高騰が収益に影響を及ぼしている。また、コロナの濃厚接触者の定義(家族が濃厚接触者となった場合家族の陰性が確定しないと自宅待機)により本人の体調に問題がなくても出社できない従業員が発生し、製造員や販売員の確保に苦慮している。</p>	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	<p>人を募集しても人が集まらない。組合員皆、後継者に頭を痛めている。その中で、魅力ある企業・地元に必要なとされる企業を維持するために頑張っている。コロナの影響が継続しており、人流が大幅に落ち込んでいる。</p>	パン・菓子製造業 下関市
	<p>コロナ禍の業況は、組合員の業種によって変わらない組合員、季節的に厳しい組合員に分かれている。数値的な部分はわからないが、今年の冬はどの会社も前年とあまり変わらなかった模様。外国人技能実習生は入国出来ないが帰国は出来るので、人数が減るばかりで各企業とも困っている。4月中旬に新しい外国人技能実習生が入国。今後、通常に入国できるようになってくると思われる。</p>	水産食料品製造業 長門市
	<p>コロナウイルス対策の規制が緩和されつつあるも、その恩恵は未到来。GWの人流による購買需要・その後のコロナウイルス増加による経済のリアクションが気になるところである。売上の減少、更に原料の高騰、ウクライナ情勢による原油高・資源の確保等まだまだ先が見えないように感じる。商品の値上げが必須になってきた。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>全国的なコロナ蔓延防止対策が解除されたことで飲食店も通常営業となってきたが、原油価格の大幅な上昇に伴う各種コストの増加により製造原価が上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。ロシアがウクライナに侵攻し2ヶ月が経過したが、終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格の上昇も懸念されている。政府は、原油価格の上昇に伴う損失補填などを早急に進めると共に、食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>入国制限が緩和されたが、当組合の外国人技能実習生はまだ入国出来ず、組合員は人員不足で困っている。</p>	下着類製造業
木材・木製品	<p>建築・木材業界全体が低迷しており、当地域の工務店は四苦八苦している。この度のウクライナ侵攻でロシア材が入荷困難となれば、赤松材が不足し関連商品の高騰品薄は確実である。値上がり前に材料を押さえておきたいという建</p>	製材業・木製品製造業 岩国市

	<p>築業者が数社ある。組合としての活動は皆無。</p>	
	<p>組合員1社が高齢を理由に廃業する。</p>	<p>製材業・木製品製造業 山口市</p>
	<p>当組合のコロナによる影響が出始めた時期は、令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の平成31年4月に比べ2%の増加、コロナ禍の令和3年4月と比べ25%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材の需要はウッドショックにウクライナ情勢によるさらなる影響が加わり益々増加傾向。売上高は上昇しても仕入費や燃料費等の高騰により収益については厳しい。最近の電力小売業界における経営悪化が聞かれる中、新電力からの一方的契約解除により電気代が5月以降2倍程度の値上がりが見込まれ、困惑の組合員がある。ウクライナ情勢による影響として針葉樹合板の価格が高騰している。</p>	<p>製材業・木製品製造業 下関市</p>
印刷	<p>印刷物件の減少で受注が少なく、売上高も減少した。</p>	<p>印刷 山口市</p>
	<p>新型コロナウイルスの第7波が懸念される中、経済活動は再開の動きをみせてはいるものの、ウクライナ情勢に伴う原油や小麦粉をはじめとする物価上昇と、電力の安定供給に対する不安などが、景気動向に大きな影響を与えるのではないかと危惧されている。印刷業界も、年度替わりの需要や6月の参院選を控えており、令和3年に比べれば受注状況は好転しているが、紙をはじめ、刷版やインキの値上げが相次ぎ、企業収益を直撃している。このような非常に厳しい状況下、連合会、組合、企業が協力し組織として値上げ交渉は行っているものの、価格転嫁までには時間を要するものや、簡単に了解をとれない場合も多く、収益環境はしばらく厳しい状況が続くと予想される。</p>	<p>印刷 下関市</p>
窯業・土石製品	<p>6月1日以降の仕入値UP（鋼材、木材、運賃等）に伴い、お客様に値上案内を行っている。公共工事の比率が高い業界なので、設計値を都度見直して頂かないと立ち行かなくなるのではと危惧している。</p>	<p>コンクリート製品 製造業</p>
	<p>出荷量は、前月比114%、前年同月比90%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定しているが値上げの動きがある。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>人手が足りない時に協力体制を構築している支部と、それが無いために従業員を抱えて固定費だけが増えていく支部とがある。組合の中で協力体制が出来れば、固定費(人件費等)を減らして、少しでも各事業所の利益が得られるのではないだろうか。</p>	<p>石工品製造業</p>

	<p>萩市内観光客は、先月同様に平日は少なく、土日・29日以降の連休は多くの来客で賑わった。売上については、小売りは前年比と同等からやや増加といったところ。百貨店やギフトなどへの卸は前年比20%程度減少した。明倫学舎ショップや下関大丸（KANMON.UW）ショップは徐々に売上を伸ばしている。萩のうつわ（WEB）での売上は低迷。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>昨年同様年度始めの4月は、全体的に仕事量が少ない。連休明けから、周南コンビナートの定修案件が多数開始されるので、準備工事などが始まっているところもあるが、これも例年通りである。外国人技能実習生、特定技能性生の入国制限が緩和され、入国を待っていた企業も、5月から受け入れが始まる模様である。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>共同受電事業において、令和3年度は前年度と使用量はほぼ同一であるが、単価が6%アップしている。</p>	<p>一般機械器具製造業 周南市</p>
	<p>受注状況は好転しているものの、人員不足で対応ができない。鋼材の高止まりにより収益が圧迫されている。材料費の値上がりが急ピッチで見積も難しく、受注時の予算をオーバーすることが増えてきている。購入品も長納期や納期未定品も増えて、それに合わせるため製造も納期も見通しがつかず計画通りにいかない。仕掛かり品も増え、組立場所が狭くなるなど様々な悪影響が出ている。インフレにはなるだろうが、物不足、人手不足も当面は続くと思われ、公募に人が集まらない。自動車業界の足踏み状態が続いている事が大きく影響している。ウクライナ情勢に端を發した原油の高騰をはじめ、諸物価の上昇や物流の遅延が、大手メーカーの生産に影響を及ぼし始めており、新年度から景況がとても不安である。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への直接的影響はなく、むしろ外国人技能実習生の入国が出来ず、派遣等で対応しているが安定的に確保することが難しく、人手不足から残業が増加しており、企業からは早期入国を求められている。3月から入国出来るようになり、レジデンスの期間も短くなり企業からも好評である。再度の入国禁止がないことを祈っている。中国のコロナ対策及びウクライナ情勢が経済にどの程度影響してくるかについても注視している。なお、送り出し国では新規募集が集中しており、都会の高賃金に対抗できず募集しても外国人技能実習生が集まらない状況である。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
	<p>原材料価格の高止まりが継続する中、利益確保が難しくなっている厳しい状況に変わりはない。</p>	
	<p>販売価格については、木材や原油高騰によるポリ袋等の石油関連製品の値上げを顧客に了承してもらった。</p>	<p>一般機械器具製造業 下関市</p>

輸送機器	<p>鉄道車両関係は順調に推移している。鉄道車両生産は国内業者の今年度の受注は確保見通しであるが、再来年度以降の新車両計画は大幅減少の見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。半導体は、例年の2～3倍の受注量で引き続き好調。2～3年後も順調に推移の見通し。原材料や燃料費の高騰が相次いでおり、価格転嫁はすぐには厳しい。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>在庫状況は順調であり売上は昨年と同等である。3月と比較しても増加で推移している。コロナ前と比べ売上に変わりは無く、コロナの影響はない。主要物品の海苔、カキは特に順調に出庫されており、カキについては倍増である。</p>	乾物卸売業
	<p>単価が上がり売上は増加しているが、入荷量が少ない。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>3月下旬のまん延防止等重点措置の解除により、商品の動きが徐々に増加。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>K O S E 化粧品「コスメデコルテ」の取扱店が頑張っている。「リポソーム」など3商品の継続や新規の来店が増え売上に繋がっており、新スキンケアのブランドの紹介に繋がっている。今後は各メーカーから新商品が続々投入されるので、売上増加を期待する。マスクは取れないものの徐々に以前の生活に戻りつつあり、客数も少しずつ伸びてきている。再来店など次に繋がる接客をどう心がけるかが大切になる。</p>	化粧品小売業
	<p>半導体の不足と上海のロックダウン等により、商品の不足が続いており、これから夏のエアコン商品の確保が心配である。売上は前年同月比で90%位。</p>	機械器具小売業
	<p>前年同月比は約68%の売上減少（前々年比約80%の売上）。駐車場売上のうち、現金売上が減少。ホール売上が大幅減少。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>3月売上は対前年比18.1%増加。早咲きの河津桜のPRや旬の「まふぐキャンペーン」が効を奏し、県内客が大幅に増加した。4月は4/24時点で対前年比30%増加と好調に推移。「まふぐキャンペーン」が引き続き好調だったこと、県民割や萩市のお買い物クーポンの取扱いが増えた事が要因。廃業により退会となった製菓所を萩市内の製菓店舗が引継ぎ、リニューアルオープンした。新聞やTVメディアに取り上げられ出足は好調。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>4月の前年比供給高109.2%。来店者数102.8%と好調。生協の野菜は生産者との契約で価格が変わらないので、市場野菜の価格が高騰すると来店者が増える傾向がある。玉ねぎやじゃがいもが品薄で高騰している。</p>	各種商品小売業 下関市

商店街	<p>コロナ関連規制が全面解除になり、市況にも変化が現れた。コロナ前に比べると及ばないものの、夜間の飲食業界に限っては会食の機会も増えてきて、週末を中心にコロナ禍で削減した人員の不足が露呈。一方で、深夜営業店舗は依然として不振。ほか物販小売業界は大きな変化は無い。日中の人出は、大型商業施設が大きく集客したが、地方都市特有の過疎状況が浮き彫りになった。GW後に、どれだけ一般消費が増加するかが注目される。2年を超えるコロナ市況で、消費者の消費スキームは大きく変化。通販や宅配にシフトしており、従前型の小売り事業は苦戦すると思われる。</p>	岩国市
	<p>未だに警戒心があるのか街に人の動きがみられない。品物の仕入値も上がり、益々商売が難しくなっている。</p>	宇部市
	<p>コロナ制限解除の影響か人の出入りが少し多くなった。「来客はあるが売上がもう一つ伸びない」と店主は話すが、これからへの期待感はあるようだ。他地域の観光客の様子を見て、「飲食業は強い。商店街に飲食業がないので、もっと地元の集客に力を入れなければならない」とも話している。</p>	萩市
	<p>入学式シーズンでの人の増加により多少商店街の人通りが増えたが、その他の日は元に戻る感じである。</p>	下関市
サービス業	<p>コロナ感染者数が高止まりしているが、美容業界の数字は例年通り。</p>	美容業
	<p>4月上旬は、移動や入学式で客足も多かったが、中旬頃からは減少傾向にある。</p>	理容業
	<p>令和3年度の自動車新車新規登録台数が公表された。登録車が対前年度比 90.3% (-3.691 台)、軽自動車が同じく 88.6% (-3.417 台)、全体で 89.5% (-7.108 台) と、コロナの影響を大きく受けている令和2年度との比較でこれだけのマイナスとなっており、コロナ前の平成30年度と令和3年度の全体の比較では、80.5% (-14.705 台) となり、自動車業界の衝撃度はかなりのものとなっている。これが、数年後には継続検査台数の減少という形で跳ね返ってきて、整備業界を直撃することになると思うと大きな不安がよぎる。</p>	自動車整備業
	<p>オミクロン株の影響がまだある。特に小学生は軽症なので、何人感染しているのかわからない。クラブとして感染者が出ると、感染対策は徹底して行っているが罪悪感を抱いてしまう。そんな中、ゴールデンウィーク前くらいから入会者が出てきている。</p>	スポーツ・健康教授業

	衣替えシーズンに入り忙しくなってきた。売上は、組合員店舗でヒアリングする限り前年同月よりも増えている印象である。しかし、業界全体としてみると良い企業、悪い企業との格差が開いてきたとの話も聞く。	普通洗濯業
	コロナ感染を気にする客は飲み会などを控えている模様。併せて雇用調整助成金なども厳しくなっている。このような助成金に頼らないで済むような世の中の流れになって欲しい。	飲食業
	J Rの売上は前年同月の45%程度。東京からの業務委託費も10%ダウンと厳しくなっている。	旅行業
	新型コロナウイルス感染対策の規制が緩和され、県民割及び福岡県を含む隣県割の利用者拡大により、前年を大きく上回ることができた。しかしながらコロナ前の平成31年4月と比較すると売上は67.2%、宿泊人員は84.0%で、まだまだ厳しい状況に変わりはない。	旅館業 山口市
	入浴者数は前年比20%の減少。売上高は10%減少となった。原油価格の上昇により加熱費が大幅増加し、一部入浴施設の休業を週4日間に増やした。資金繰りの厳しい状況が続く。	旅館業 長門市
	まん延防止等重点措置が解除され、全国的に感染者数も減少。各種支援事業も始まり予約数も順調に伸びている。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請178件(当支部156件)、前年同月140件(同128件)。太陽光発電への申請42件(前年24件)、オール電化申請59件(前年71件)。LED街路灯への切り替え・新設申請14件(前年12件)であった。	電気工事業
	技能者数が大きく減っており、施工能力の減少や廃業に追い込まれる同業数が増えている。工事量の回復は全体的には鈍いが、施工能力を維持している事業所の工事量は数ヶ月先には回復が見込まれる。	左官業
	年度替わりの4月は例年通り入札の案件は無かった。5月の連休明けより入札が少しずつ開始される見込みである。新型コロナウイルスの影響は無い。	管工事業
	新型コロナウイルスの感染が未だ収束しない中GWを迎え、次の爆発的感染拡大が危惧される。加えて、為替レートの急激な円安は、生活必需品の内、為替に関連する物品の値上げをもたらし、ガソリン・軽油に関しては、昨年秋より高止まりのままであり、運送業などは、採算ベースを割込んでいる。石油元売りへの手当では、改善の望みは薄いと考えられる。経済支援の施策がかなりの金額で示されているが、実際に、中小企業がどの程度の恩恵を受けているかには疑問が残る。	一般土木工事業 柳井市
	燃料費の高騰により、収益が悪化している。	一般土木工事業 周南市

	4月の受注高は、対前年同月比 96.0%。令和4年度の累計では、対前年比 69.0%。	一般土木工事業 萩市
	令和4年度の第一四半期（令和4年4月～6月）の受注高は年度替わりで未定のため不明である。軽油等の値上がりが収益に影響している。	一般土木工事業 長門市
	原材料、製品仕入れ価格の高騰が続き、状況が次第に悪くなっている。	屋根工事業
	一部仕事が少ない地域があり、雇用調整助成金の受給を検討している組合員がある。鋼材価格が安定せず、受注時の鋼材単価が見積と合わず減益となっている。今後も材料、消耗品の値上げが続く見込みのため、各社大変苦慮しており、世界情勢の悪化が業界にどのような影響を与えるのか不安が拭えない。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は、未だ、新型コロナウイルスの収束も見られず、車両の遅速が目立ち、売上は前年同月比約 25%強のマイナスとなった。輸出はやや上向いているが、国内輸送が下向きである。燃料費関係では、3.5円の値下げがあったが、中小零細の運輸業にとって、輸送量減少の現今、この程度の値下げは効果が少ない。とにかく、軽油引取税の撤廃を強く求めている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	上海のロックダウンの影響により一層、半導体、部品調達が難しい状況となった。自動車関連における輸送取扱高は前年比 10%程度の減少、コロナ不況前との比較では半減の状況。燃料価格は前年比 22%程度の増加、前々年比では 37%程度の増加になっている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	輸送は、輸出入品の関係で中国のロックダウンによる影響がでている。製造業を中心に荷動きが多くおおむね好調である。業務の増加に伴い人材の充足も進めているが、山口県もコロナ感染者の減少傾向に伴い求人が増えており、人材確保に苦慮している。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比＋8.8%（令和4年3月1日～令和4年4月20日分）だった。3月1日～31日分は＋5.7%、4月1日～20日分は＋14.5%。コロナ感染が収束しているようには思えないが、長引く行動制限に耐えられなくなったためという意見もある。前々年もすでに感染の影響があったので、前々年度比では、それぞれ＋11.2%、▲5.3%、＋58.3%になる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。3月分については、周南▲0.3%、下松＋16.0%、光＋15.7%、防府市地区は▲3.9%で、組合員の全域では＋1.1%、地区外（員外）＋44.1%、合計＋5.7%（＋658千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上昇し（前月847.5\$/トンが今月940.0\$/トン、前年562.5\$/トン）、フレート（輸送）コストも上昇（前月7,200円/トンが今月8,400円/トン）した。為替も円安（前月116.22円/\$が119.53円/\$）。燃料単価は前月より＋8.3%上がった。前年4月比＋38.7%であり、たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。コロナ感染発生の影響は続いており、需要が回復しつつあるが、夜間の飲食業関連は回復にまだまだ時間がかかるように思われる。加えて、ロシアのウクライナ侵攻によるインフレ不況への懸念が景気回復の妨げになっていると思われる。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>4月の対前年比取扱高は、ほぼ横ばいであった。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>
<p>その他</p>	<p>海外で新型コロナウイルスの流行が続いており、入国制限の解除も一部であり、外国人技能実習生の受入は実施できていない。外国人技能実習生受入以外の事業を行なうことで組合活動として継続している。また、今後に向けて組合員の勧誘や実習生を受け入れ事業所の募集を行なっている。</p>	<p>介護事業</p>